

潮風を浴びて、青空の下を駆ける。
最高の笑顔で、めざせ完走！

広報

「くぜんたかた」



2026

No.1204

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

SDGs GOAL 3 すべての人へ
健康と福祉を

SDGs GOAL 17 パートナーシップで
目標を達成しよう

IPPON
MATSU

陸前高田市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

奇跡の一木松マラソン
※開催ページ(P-18)

市営住宅とみなし特定公共賃貸住宅の入居者を募集しています

募集期間および対象住宅(定期募集) 1月19日(月)から1月30日(金)まで

町名	団地名	建築年度	構造	市営住宅					みなし特定 公共賃貸住宅
				1DK	2DK	3DK	ペット可	車いす対応	
高田町	鳴石第2	S 59	RC	—	1戸	—	—	—	—
	下和野	H 26	RC	—	—	2戸	—	—	—
	中田	H 27	RC	—	1戸	1戸	—	—	—
気仙町	今泉	H 28	RC	—	2戸	—	—	—	—
小友町	柳沢前	H 26	RC	—	1戸	—	—	—	—
広田町	大野	H 27	RC	—	1戸	1戸	—	—	3DK:1戸

家賃

入居世帯の総所得、団地、間取りによって決定します。世帯ごとに異なりますので、詳しくはお問い合わせください。



申込資格 (下記のすべてに該当する人)

(1)市営住宅 (住宅に困窮する低額所得者を対象とした住宅)

①入居しようとする世帯全員の所得総額が**月額158,000円以下**の世帯

※高齢者のみの世帯、障がいのある人がいる世帯、18歳以下の人や妊婦がいる世帯については**月額214,000円以下**の世帯

②転勤や結婚などのために現に住宅に困っている人

③申込者および同居しようとする入居者が暴力団員でないこと

(2)みなし特定公共賃貸住宅 (中堅所得者層を対象とし、優良な住環境を提供するための住宅)

①入居しようとする世帯全員の所得総額が**月額158,001円以上487,000円以下**の世帯

②転勤や結婚などのために現に住宅に困っている人

③次のいずれかに該当する人

- ・満40歳以下の人

- ・満41歳以上で親族と同居して入居する人、または1年以内に親族と同居を予定している人

- ・勤務状況などにより親族との同居が困難な人

④申込者および同居しようとする入居者が暴力団員でないこと

必要書類 (郵送は不可となりますので、次の提出先までご持参ください)

①入居申込書 (市営住宅管理センター、市役所住宅政策室で配布。市営住宅管理センターホームページからもダウンロードできます。)

詳細は
こちら



②入居希望者全員の本籍が記載された住民票 (市役所市民課発行)

③18歳以上(高校生を除く)の入居希望者全員の課税証明書(令和7年度) (市役所市民課発行)

④障害者手帳などの写し (障がいのある人)

⑤納税証明書…滞納があった場合、入居者を選考する際に、著しく不利な取り扱いとなります。

※取得する際には税目ごとではなく、「滞納がないことを一括で証明する内容」と窓口でお話しください。(市役所市民課発行)

提出先 陸前高田市営住宅管理センター(指定管理者:株式会社長谷川建設)

〒029-2205 陸前高田市高田町字西和野200番地

常時募集
しています

これまでの定期募集で入居者が決まらなかった空き部屋については、申込期間を定めずに、常時申し込みが可能となっています。

申し込みが可能な部屋については、市営住宅管理センターホームページをご覧ください。また、その他の詳細につきましては、次の問い合わせ先へご確認ください。

問い合わせ先

陸前高田市営住宅管理センター 0192(47)5180 または 市役所住宅政策室住宅政策係(内線482)



謹賀新年

2026

令和8年



令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

東日本大震災から15年を迎えるようとしています。

震災で犠牲となられた方々にあらためて哀悼の誠を捧げるとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

本市はこれまで、東日本大震災からの一日も早い復旧・復興に向け、全力で取り組んできたところであり、昨年5月に開館した気仙町今泉地区の県指定有形文化財「旧吉田家住宅主屋」の復旧をもって、ハード整備は終了いたしました。

今後におきましても、被災された皆様の心に寄り添い、心の復興などソフト事業を進めるとともに、復興の先を見据え、賑わいの創出や地域産業の活性化などを取り組みを一層強化してまいります。

震災以降、様々な面で復興事業に対しご理解とご協力をいただきました皆様に、深く感謝申し上げます。

昨年においては、6月から陸前高田高等職業訓練校内に立教大学陸前高田

一方で、長期化する物価高騰につきましても、国の経済対策の動向を注視しつつ、市民生活や地域経済への影響にもしっかりと向き合い、必要な支援策を迅速に講じてまいります。

結びに、本年も市政に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとって、希望に満ちた幸多い年となりますよう心から祈念申し上げまして、新年のごあいさつといった

年頭に寄せて

陸前高田市長

佐々木 拓



スマホやタブレットで申告できます！

e-Tax（電子申告）を利用すれば、自宅から24時間いつでも申告することができます。感染症防止や時間の有効活用のためにもぜひご利用ください。スマートフォンやタブレット端末からでも利用できます。

所得税確定申告はこちから

URL : <https://www.keisan.nta.go.jp>

申告相談にあたってのお願い

事前に集計を済ませていない場合は、申告相談を受けられません。

- 事業所得や不動産所得を申告する人は、帳簿などを基に収支内訳書を事前に作成してください。
- 収支内訳書や医療費控除などの集計用紙は、項目ごとに計上されれば任意の様式でも構いません。
- 住宅改修や住宅借入金等特別控除（住宅ローン控除）の初回申告は、税務署で申告してください。

1月下旬に申告書を送付します

市・県民税の申告書は、1月1日現在、本市に住民登録がある人で、昨年、市・県民税申告をした人や収入情報が無かった人へ、1月下旬に発送します（昨年、確定申告した人には送付しません）。

●昨年、事業所得（営業・漁業・農業など）や不動産所得を確定申告した人には、収支内訳書などの集計用紙を送付します。

●申告書・収支内訳書・医療費控除の明細書などは、市役所税務課に備え付けているほか、市ホームページからダウンロードできます。



郵送でも受け付けます

市・県民税申告書を自分で作成して提出する場合は、根拠となる書類（証明書・領収書など）を全て添付して提出してください。電話で内容を確認することができますので、提出の際は電話番号を必ず記入してください。

なお、確定申告書は税務署へ郵送または持参してください。

表1 市・県民税、所得税申告相談日程

受付時間：午前8時30分～午後3時(正午～午後1時を除く)	
期 日	申告相談会場
2月13日(金)	生出地区コミュニティセンター
2月16日(月)	矢作地区コミュニティセンター
2月17日(火)	下矢作地区コミュニティセンター
2月18日(水)	横田地区コミュニティセンター
2月19日(木)	竹駒地区コミュニティセンター
2月20日(金)	米崎地区コミュニティセンター
2月24日(火)	小友地区コミュニティセンター
2月25日(水)	広田地区コミュニティセンター
2月26日(木)	長部地区コミュニティセンター
3月 2日(月)	今泉地区コミュニティセンター
3月 3日(火)	市コミュニティホール (高田地区コミュニティセンター) 13日、16日は午前中のみ

* 3月9日(月)および11日(水)は相談を実施しません

消費税の確定申告は大船渡税務署へ

消費税の確定申告については、大船渡税務署にお問い合わせください。

問い合わせ先 大船渡税務署 ☎0192(26)3481

市・県民税

所得税

申告の準備をしましょう
申告はe-Taxの活用を!

SDGs GOAL 16 平和と公正をすべての人に

市・県民税と所得税の申告は、3月16日(月)が期限です。
市では、市・県民税と所得税の申告相談を左のページの表1のとおり2月13日(金)から行います。

申告が必要か確認してみましょう

申告の要否と種類（所得税の確定申告、市・県民税申告）を下の図で簡易的に判断できます。

※確定申告をする場合は、市・県民税申告は必要ありません。



収入がない場合も申告を

昨年中に収入がない場合でも、市・県民税の申告は必要です。申告をしないと、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料の算定に影響する場合があるほか、各種手続きに使用する所得証明書などの発行もできません。収入がない旨の申告をする場合は、市・県民税申告書内の「16 収入がなかった人などの記載欄」に必要事項を記載し、必ず期限までに提出してください。

問い合わせ先 市役所税務課市民税係（内線111・112）

● 林野火災注意報・林野火災警報の運用が始まりました

SDGs GOAL 15 陸の豊かさも守ろう

本年1月1日から林野火災の予防を目的とした「林野火災注意報・林野火災警報」の運用が始まります。

林野火災注意報・林野火災警報の発令基準について

林野火災注意報の発令基準	林野火災警報の発令基準
①または②のいずれかの条件に該当する場合 ①前3日間の合計降水量が1mm以下かつ前30日間の合計降水量が30mm以下 ②前3日間の合計降水量が1mm以下かつ乾燥注意報が発表 ※ただし、当日に降水が見込まれる場合や積雪がある場合には、発令しないことができるものとする。	林野火災注意報の発令基準 + 強風注意報が発表

対象期間 1月1日～5月31日（毎年）

林野火災注意報・警報が発令された場合の規制について

市火災予防条例により、次のとおり「火の使用の制限」が課せられます。

- ①山林、原野などにおいて火入れをしないこと。
- ②花火を使用しないこと。
- ③屋外において火遊びまたはたき火をしないこと。
- ④屋外においては、引火性または爆発性の物品、その他の可燃物の付近で喫煙をしないこと。
- ⑤残火（たばこの吸殻を含む）、取灰または火粉を始末すること。
- ⑥屋内において裸火を使用するときは、窓、出入口などを閉じて行うこと。
※林野火災警報が発令されているときに、「火の使用の制限」に違反した場合は、消防法により罰せられることがあります。なお、林野火災注意報は、罰則を伴わない努力義務を課すものとなります。



たき火の届け出について

市火災予防条例において、火災とまぎらわしい煙または火炎を発するおそれのある行為に、たき火が含まれることが明記されました。たき火をする場合は、消防署への届け出が必要となります。

※電話での届け出も受け付けています。

問い合わせ先 市消防本部予防係 ☎0192(54)2119

● 横田地区コミュニティセンターの利用を再開します

SDGs GOAL 11 住み続けられるまちづくり

市では、施設の長寿命化を図るため、横田地区コミュニティセンター（横田基幹集落センター）の改修工事を行いました。

2月1日（日）から利用を再開しますので、ぜひご利用ください。

なお、施設予約は、横田地区コミュニティ推進協議会（0192-59-2810）までご連絡ください。

問い合わせ先 市役所まちづくり推進課コミュニティ係（内線125）

● 共同消防指令センターの運用が始まります

SDGs GOAL 3 すべての人に健康と福祉を
SDGs GOAL 11 住み続けられるまちづくり

3月10日（火）から市消防本部管内の119番通報は
『いわて消防指令センター』で一括受信します

本市を含む県内10の消防本部では、119番通報などを受けける消防指令業務の共同運用を開始します。これにより、災害情報を一元化し、迅速な相互応援体制を実現します。また、最新の高機能指令システムを取り入れ、指令業務を専門職員が担うことで、消防体制を強化します。



119番通報をいわて消防指令センターで一括受付

これまで県内10の消防本部では、それぞれの消防本部で119番通報を受け付けていました。

共同運用後は、盛岡市のいわて消防指令センターで一括して受け付け、各市町村の消防本部に出動指令が下されます。

消防車や救急車はこれまでどおり市消防署から出動します

いわて消防指令センターでは、消防業務のうち指令業務のみ共同運用されます。そのため、消防車や救急車は、これまでどおり市内の災害現場には市消防署から出動しますので、現場到着が遅くなることはありません。

いざというときは落ち着いて通報を

119番の通報方法に変更はありませんが、通報する際は「陸前高田市〇〇町…」と市名を含めた住所を伝えてください。これにより、出動先を速やかに決定することができます。

住所がわからないときは、周辺の目立つ建物などを教えてください。受け取った情報やGPS情報、検索機能を併用して、指令員が場所を特定します。

119番通報のポイント

119番通報するときは、次のことを心掛けましょう。

『あわてず・ゆっくり・はっきりと』

① 火事・救急であることを伝える

② 住所を伝える

※消防車・救急車に来てほしい場所

③ 状況を伝える

※指令員からの質問に答えてください。

消防指令センター Q&A

Q 119番通報がつながりにくくなりませんか？

A 共同運用後の着信件数を想定して回線数を設定していますので、つながりにくくなることはありません。

Q 119番通報の受信範囲が広がりますが場所の特定はすぐにできますか？

A 最新のシステムが導入されたため、位置情報通知システムや検索機能により、すぐに通報場所を特定できます。

問い合わせ先 市消防本部・消防署 ☎0192(54)2119

陸前高田WATAMIオーガニックランド

自由に使える広場として解放します

SDGs
GOAL 15 陸の豊かさも守ろう

ワタミオーガニックランドの野外音楽堂、キャンプ場として運営している芝生広場の一部を、自由に利用できる広場として市民の皆さんに解放しています。ぜひ、ご利用ください。

陸前高田 watami
オーガニックランド

使用例

公園として！

- ・かけっこ
- ・キャッチボール
- ・フリスビー
- ・動物同士のふれあい



イベントブースとして！

- ・スポーツ大会
- ・ダンスイベント
- ・吹奏楽コンクール
- ・ドッグラン大会



施設のご案内

フリー

- ①駐車場
- ②トイレ
- ③園内散策



露地野菜、ハウス野菜、ワイン用に植樹したブドウも、すくすくと育っています！

有料

- ④キャンプ場
- ⑤BBQ一式
- ⑥飲食ショップ



地元の美味しい食材でBBQを楽しんだり、施設内を探索したり遊び方いっぱい!!



詳細は
こちら



広場ご利用時の注意点

- ①自転車、ストライダー、キックボード、スケートボードなどの乗り入れは禁止。
- ②公園内は喫煙所を除き禁煙。
- ③園内は火気厳禁。(キャンプ場を除く)
- ④花火は禁止。
- ⑤硬いボールやバット・ラケット・ゴルフクラブなどの使用は禁止。
- ⑥ペットの散歩をするときはリードをつけ、粪を必ず持ち帰ること。

問い合わせ先 陸前高田ワタミオーガニックランド事務局

☎0192(53)2107(午前10時～午後5時)

E-mail info-rt-organic@watami.net

〒029-2204 岩手県陸前高田市氣仙町字土手影309番地



運行中！

たかたスマートモビリティ Q&A

SDGs
GOAL 11 住み続けられる
まちづくりを

サービスの
詳細はこちら



昨年12月からスタートした新しい公共交通「たかたスマートモビリティ」。「使い方が難しそう…」と迷っている人へ、よくある質問をまとめました。スマホや電話で簡単に呼べる新しい「まちの足」を、ぜひご活用ください！

Q1 たかたスマモビってどんな交通？

- A 好きな時間・乗降場所を指定できる予約制の新しい公共交通です。

スマホや電話で行きたい場所と時間を指定すると、予約に合わせてバスが迎えに来ます。「たかたコミュニティバス西部線」に代わる、より便利で利用しやすい交通手段として実証運行を始めました。

Q2 便利なポイントは？

- A 自分の予定に合わせて、自宅の近くから乗車できます。

「〇時にお迎え」や「〇時に到着」など、予定に合わせて時間指定できます。エリア内に100カ所の乗降ポイントがあるので、自宅やお出かけ先のすぐ近くで乗り降りできます。

Q3 予約した時間に遅れそうなときは？

- A キャンセルして、予約の取り直しをお願いします。

他のお客様との乗り合いのため、バスは定刻に出発します。予約した時間に遅れそうなときは、現在の予約をキャンセルし、新しい時間で予約を取り直してください。

※電話予約の場合は、予約センターの受付時間に注意してください。

Q4 家族や友人と一緒に利用したいが、個別に予約が必要？

- A 代表者がまとめて予約できます。

同じ場所から乗って同じ場所で降りる場合は、代表者が人数分をまとめて予約および支払いが可能です。予約時に乗車人数を指定してください。

Q5 タクシーのように手を挙げて乗車できる？

- A できません。予約したポイントからの乗車をお願いします。

「たかたスマモビ」は、決められた乗降ポイント間を移動する交通機関です。道端で手を挙げて止めることや、乗降ポイント以外での乗り降りはできません。

Q6 自分は乗らないけど、代理で予約できる？

- A 家族の利用に限り、代理予約できます。

代理予約するときは、予約内容や利用のルールを乗車する本人にしっかりと伝えてください。また、緊急時は予約したアプリ・または登録されている電話番号へご連絡します。代理で予約した人と利用する人が連絡を取れるようにしてください。

Q7 学生や障がいのある人などの割引はある？

- A はい、各種割引があります。

アプリ・市LINEからの予約の場合は、予約画面の「乗車人数」の項目から、当時はまる区分(学生・障がい者など)を選んでください。電話の場合は、オペレーターに口頭で伝えてください。

※障がいのある人が利用するときは障害者手帳などを、乗車時に提示してください。

特別展 日本遺産「みちのくGOLD浪漫 -黄金の国ジパング、産金はじまりの地をたどるー」

SDGs 4 質の高い教育を
GOAL 4 みんなに

市立博物館では、「みちのくGOLD浪漫」の特別展を開催します。「みちのくGOLD浪漫」は、時代とともに幾重にも結びつき、独自の文化や信仰、産業へと昇華した“金”にまつわるストーリーです。

認定から7年目を迎える「みちのくGOLD浪漫」を、国指定重要文化財「金銀時絵鏡箱」(平泉町)や、県指定有形文化財「吉田家文書」(本市)など、各構成市町に所在する魅力的で優れた構成文化財を通して紹介します。

開催期間：1月31日(土)～3月15日(日)

(月曜休館、月曜祝日の場合は翌火曜休館)

主 催：日本遺産「みちのくGOLD浪漫」推進協議会、市立博物館

会 場：市立博物館 企画展示室

特別展覧料：800円(高校生以下：無料)

※常設展示は無料



金銀時絵鏡箱
国指定重要文化財(平泉町)



吉田家文書
県指定有形文化財(陸前高田市)

問い合わせ先 市立博物館 ☎0192(54)4224

文化財ニュース

SDGs 4 質の高い教育を
GOAL 4 みんなに

SDGs 11 住み続けられる
GOAL 11 まちづくり

江戸時代の気仙地方のお正月

江戸時代の気仙地方では、元日に栗・カヤの実・串柿・クルミ・粉取大豆・ふのり・切り餅・自家製の煎餅などを、新しい箸に料紙二枚を敷き、「米の木の箸」を添えて火棚^{ひだな}^{※1}にあげていました。これは自然採取の時代を思わせ、古代のしきたりを伝えていたものと考えられています。

また、現在は玄関に門松を立てることが通例となっていますが、松の木を用いるようになったのは幕末頃であるという記録もあります。

気仙町今泉では檜の木を用いることもあります、「久助文書」によると、天明年間(1781-1789)、今泉の検断^{けんじょ}^{※2}久助は「栗の方が雪の重みに耐え得るので良い」といっています。(陸前高田市史第5巻民俗編(上)参照)

正月の飾りや供え物は、時代や地域によって違いはみられますが、良い一年を迎えると願う気持ちは今も昔も変わりありません。

※1 火棚…団炉裏の上に置く木製の棚

※2 検断…旧仙台藩における地方役人の職名。
宿駅の取締りなどを行った。



問い合わせ先 市教育委員会教育総務課文化財係(内線556)

地域おこし協力隊 活動報告会

～陸前高田市と協力隊のこれまでとこれから～

SDGs 17 パートナーシップで
GOAL 17 目標を達成しよう

市では、地域おこし協力隊の1年間の活動を市民の皆さんに広く知ってもらうため、隊員による「活動報告会」を開催します。

本活動報告会は、これまでの地域での学びや取り組みを隊員自身が言語化し共有することで次の挑戦につなげ、市民や関係団体の皆さんに、協力隊の活動を応援していただく機会とすることを目的としています。

どなたでも参加できますので、ぜひ気軽にご覧ください。

日 時：1月29日(木) 午後1時30分～3時

会 場：市役所5階会議室およびオンライン(Zoom)

内 容：地域おこし協力隊の活動の振り返り、学びの共有、今後の展望についての報告

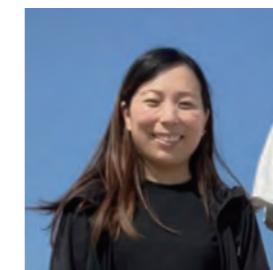
対 象：市民の皆さん、関係団体、地域おこし協力隊に関心のある人など

定 員：20名(現地参加)

※オンライン参加の人に
は、申し込み後、別途
URLを案内します。

申込方法：申し込みフォームから申
し込み

申込期限：1月22日(木)



NPO法人高田暮舎
いしだ ゆか
石田裕夏さん



THE BLUE SUP
うえた ゆたか
植田豊デンゼルさん



市観光物産協会
かんの ちかこ
菅野睦子さん

お申し込み
はこちら



問い合わせ先

NPO法人高田暮舎 地域おこし協力隊事務局

☎080(6292)3865 メール：rikuzentakata.chikiokoshi@gmail.com

書きそんじハガキキャンペーン 2026

SDGs 4 質の高い教育を
GOAL 4 みんなに

SDGs 11 住み続けられる
GOAL 11 まちづくり

陸前高田ユネスコ協会では、ユネスコ世界遺産運動の一環として、書きそんじハガキを回収しています。回収したハガキは発展途上国の教育支援のために役立てられています。

ハガキの他に未使用切手や未使用プリペイドカードも集めており、昨年実施分ではハガキ1,328枚、切手など90枚が集まり、募金額は7万5,990円となりました。

本年も皆さんのご協力をお願いします。

回収箱設置場所：各地区コミュニティセンター、市立図書館、市立博物館、奇跡の一本松ホール、市役所1階市民課窓口付近、2階エレベーター前カウンター

回収期限：2月28日(土)

注意事項：宛名や住所など個人情報に関する箇所は、マジックなどで塗りつぶしてお持ちください。

問い合わせ先 市教育委員会教育総務課管理係(内線553)



家庭教育講座 受講生募集！

市では、保育者が心にゆとりを持つ時間を作ることで、子どもとのコミュニケーションの時間を増やし、家庭教育の充実に役立てることを目的として家庭教育講座を開催しています。

新たな知識を吸収したり、親子で楽しく物づくりすることで、子どもとのコミュニケーションの時間を増やし、充実したものとなるよう、ぜひこの機会に参加してみませんか。

親子でふれあい運動遊び

講師：陸中海岸青少年の家 指導員

親子で体を使って遊びながら様々な動きを身につけることができる運動遊びを行います。
子どもと一緒に楽しみながら体を動かし、寒さを吹き飛ばしましょう！

日 時：2月11日(水・祝) 午前10時～11時

場 所：市コミュニティホール シンガポールホール

対 象：3～6歳の子どもとその保護者 ※市内在住、または市内に通勤している人

費 用：無料

持 ち 物：室内シューズ、飲み物

募集人数：10組 ※先着順

申込期間：1月21日(木) 午前9時～2月4日(水) 午後5時

申込方法：申し込みフォームまたは電話で受け付けます。

申 込 先：市教育委員会教育総務課生涯学習・芸術係(内線554)

お申し込み
はこちら

昨年度の家庭教育講座の様子

「0歳からの陸前高田ふれあいコンサート」を開催します!!

日本フィルハーモニー交響楽団によるふれあいコンサートを開催します。

0歳からどなたでも入場でき、入場無料です。ぜひお越しください。

日 時：2月22日(日) 午後1時～(開場：午後0時20分、終了予定：午後2時頃)

場 所：市コミュニティホール シンガポールホール

出 演：江崎七海(歌とお話)、日本フィルハーモニー交響楽団、陸前高田スペシャル吹奏楽団(高田高校吹奏楽部、高田第一中学校・高田東中学校吹奏楽部有志with日本フィルメンバー)

プログラム：第1部 日本フィルハーモニー交響楽団による演奏

フルート、クラリネット、サックス、トランペット、トロンボーンのソロ演奏



第2部 陸前高田スペシャル吹奏楽団による演奏

アンパンマンのマーチ、ジャンボリミッキー！、さんぽ

ロビーイベント 弦楽器を触ってみよう&わんこ兄弟とせき坊が遊びに来るよ！

申込方法：申し込みフォームまたは電話で受け付けます。

申込期限：2月18日(水)

問い合わせ先：市教育委員会教育総務課生涯学習・芸術係(内線552)

お申し込み
はこちら

はまうつせみ

学びを通じ、未来を創造する、心豊かでたくましい人づくり

どなたでも
無料で参加
できます！

令和7年度「生涯学習のつどい」を開催します！

市では、生涯学習に対する理解を深め、生涯学習・社会教育活動に取り組む市民活動を知りたい方として「生涯学習のつどい」を開催します。

会場：奇跡の一本松ホール

展示の部 2月7日(土)～8日(日) ルーム1

生涯学習・図書館・博物館・文化財事業の紹介パネルの展示。

その他にも、生涯学習事業で制作された成果品の展示を行います。ぜひお立ち寄り下さい♪

講座の部 2月7日(土) 実習室1・2

申込受付開始：1月15日(木) 午前9時～(先着順) ※講座①②どちらも

申込方法：申し込みフォームまたは電話で受け付けます。

お申し込み
はこちら1 初心者向けスマホ教室
「生成AIをつかってみよう」

時間：午前10時～11時30分 定員：12名

講師：一般社団法人トナリノ

「生成AI」で“できること”を体験してみませんか。基礎から学んで、実践しながら楽しく学びましょう♪

※総務省デジタル活用支援推進事業

2 「スマホでCanva活用講座」

時間：午後2時～4時 定員：16名

講師：SCENERY(シーナリー)板林恵氏 他

「Canva(キャンバ)って何？パソコンがなくても使えるの？」このような疑問やCanvaのコツについて教わります。センス不要で仕事にも日常にも生かせる実用的な技術の習得をめざしましょう！

講演会 2月8日(日) ホール

放送大学講演会 「AIとともに学ぶ時代へ～子どもたちの学びが映す、社会の未来～」

AIが身近になった今、子どもたちはどのように学び、何を感じているのでしょうか。小学校で子どもたちが生成AIを思考のパートナーとして活用する実践とともに、AIと人が共に学ぶ新しい時代の教育、そこから見えてくる「人間らしさ」や「社会の未来」について、皆さんと共に考えます。



講 師：宝仙学園小学校専任教諭 尾形英亮氏(宮城県気仙沼市生まれ)

時 間：午後2時～3時30分(受付：午後1時～)

申込方法：申し込みフォームまたは電話で受け付けます。

※放送大学講演会については当日参加も可能ですが、
人数把握のため事前申し込みにご協力ください。お申し込み
はこちら

放送大学講演会に先立ち、午後1時30分から教育委員会表彰を開催します。

申し込み・問い合わせ先：市教育委員会教育総務課生涯学習・芸術係(内線552)

今月の
おすすめ
レシピ

昔ながらのくるみ餅

お家で簡単!



寒い季節にうれしい、あたたかみのあるくるみ餅。

やさしい甘さとくるみの香ばしさが口いっぱいに広がります。また、緑茶を使うことでくるみの風味がさらに良くなります。

お家で手軽に作れるので、冬のおやつにもぴったりです。

*陸前高田の郷土料理レシピ集「たがだのうんめえもの」にも掲載しています。

材料(4人分)

餅	400g (切り餅なら8個)
くるみ	120g
A ザラメ	100g
水	50ml
緑茶	大さじ2
砂糖	60g
しょうゆ	小さじ2
塩	ひとつまみ (1g)

作り方

- ① Aの材料を鍋に入れ、火にかけて溶かす。
- ② くるみを①と緑茶でのばしながら、なめらかになるまですりつぶす。
- ③ くるみをすりつぶしたら鍋に入れ、残った①と砂糖、しょうゆ、塩を入れて火にかける。
- ④ 餅を湯煎またはレンジで温める。
- ⑤ 温めた餅に、③をかけたら完成。



問い合わせ先 市役所保健課健康推進係(内線 235)

主役は君だ TAKATA-U15

*U15とは...15歳以下の子ども達のことを意味します

このコーナーでは日ごろ、大会などで好成績を目指し市内で練習に励んでいる子ども達を紹介します。



チーム名(学校名)

高田バレークラブ

種目 バレー

団員10人

監督 佐々木 亮輔さん

チームスローガン 自分たちの事は自分たちで!!!

キヤブテンからのコメント

高田小学校
川島 菜穂子 さん
(6年)



普段から声を出し合うこととボールを上げる位置を意識して練習しています。試合では、点を取られているときにも声を出して励ましあい、ボールをつないで1つでも多く勝つことを目指して頑張ります。

SDGs 3 すべての人に
健康と福祉を

[1人分]
エネルギー ... 614kcal
食塩相当量 ... 0.7g



ゼロカーボンで もっといいまち

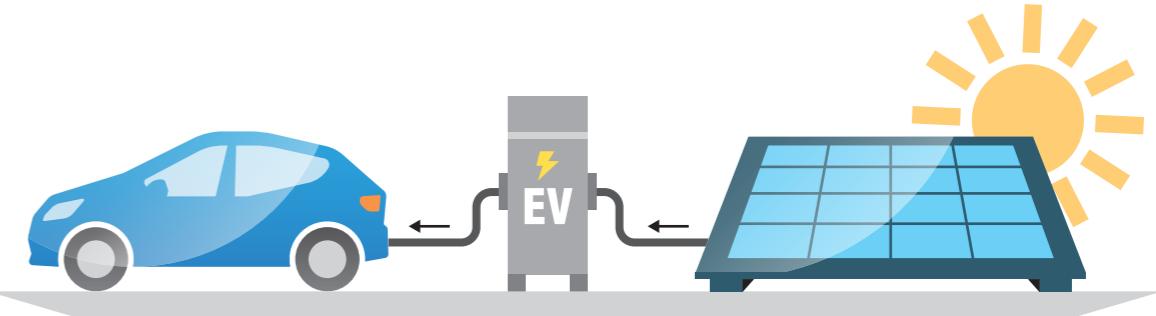
第10回

ゼロカーボン(脱炭素)とは：温室効果ガス、特に二酸化炭素(CO2)の排出を実質ゼロにすること

本市は、2050年カーボンニュートラルに向けて環境省が選定する脱炭素先行地域に選ばれました。本連載では、市が推進する脱炭素に向けた取り組みについて紹介していきます。

電気自動車(EV)充電ステーションの導入

脱炭素先行地域内の商業施設や公共駐車場、宿泊施設などへのEV充電ステーション設置を推進することにより、観光客の市内滞在を促進します。また、電気自動車は「動く蓄電池」として活用でき、EV充電ステーションを設置することにより、災害対応力の向上を図ります。さらに、市内で発電した再生可能エネルギー電気を、EV充電ステーションを通して電気自動車に供給することで、運輸部門のCO2排出量削減を図ります。本年度は、中心市街地エリアの商業施設2カ所に充電設備を合計3基(急速充電1基、普通充電2基)導入する予定です。



電気保安人材の育成・確保

再生可能エネルギーの活用を拡大し、地域脱炭素を推進するためには、太陽光発電設備など電気設備の保安・監督の担い手である電気主任技術者が必要不可欠です。一方、本市を含む岩手県沿岸部においては、電気主任技術者の人材不足と高齢化が顕著であり、今後の大きな課題となることが懸念されます。

このため脱炭素先行地域の取り組みとして、共同提案者とともに資格取得支援を行うモデルを構築するほか、資格取得者の実務経験を充実する受け皿として、地域新電力会社「陸前高田しみんエネルギー(株)」に保安部門を設けるなど、電気保安人材の確保に向けた基盤構築を図ります。これにより、若者・女性を中心とした地元人材育成と雇用創出を実現するとともに、電気主任技術者の人材不足や高齢化といった地域脱炭素のボトルネック解消につなげていきます。

本市が取り組む
脱炭素先行地域計画について

計画名 脱炭素と資源循環で実現する農林水産業振興
～復興の先の創造的産業振興モデル～

詳細は
こちら



問い合わせ先 市役所脱炭素推進室(内線341)



脱炭素先行地域
岩手県陸前高田市



その先の笑顔のため、いまできること

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs 自分の子どもや孫たちが暮らす未来に、住みやすい地球(世界)を
とは? 残すため掲げられた全世界の人が取り組むべき目標

定期
連載

本市は、令和元年(2019年)7月に「SDGs未来都市」に県内で初めて選定されました。

「その先の笑顔のため、いまできること」編では、本市でSDGsの達成に向け積極的に取り組んでいる人・団体、関連イベントなどを紹介しています。

SDGs 4 質の高い教育を
GOAL みんなに

SDGs 17 パートナーシップで
GOAL 目標を達成しよう

あなたもぜひ
SDGsに
取り組んで
みませんか?

岩手県立高田高等学校(以下、高田高校)で、地域プロジェクトマネージャーとして高校の魅力化推進事業に取り組んでいます。

普段の仕事としては、本校の「総合的な探求の時間を中心とした生徒の活動『T×ACTION』(タクション)で依頼する講師や職場体験先を高田高校の先生方に提案し、講師や企業との連絡・調整などを行っています。

T×ACTION

地域おこし協力隊として本市の観光振興に取り組んできた経験や市国際交流協会の日本語教室などにかかわってきた経験を生かし、生徒に本市の観光や多文化共生について教えています。

また、生徒たちが興味を持つ分野に詳しい講師や地元企業を先生方に提案し、T×ACTIONが充実したものとなるようサポートしています。

国際交流事業

高田高校の実習船「かもめ」が米国クレセントシティ市のデルノーテ高校の生徒たちの手によって本校に返還されたことを機に始まった本交流。本年度は、1月10日(土)から17日(土)までの一週間、5人の生徒たちが短期留学やホームステイを通して現地の方々と交流しています。

生徒たちは、初めて訪れる外国や現地で英語を話すことに不安なようですが、これまで、オンラインで顔合わせしてきたデルノーテ高校の生徒と実際に会えることをとても楽しみにしているようです。

本交流のために、私も現地の人との事前準備を英語で行っており、大変ではありますが、生徒たちが充実した交流になるように努めています。

地域みらい留学事業

「地域みらい留学」は、日本各地の魅力的な公立高校に都道府県の枠を超えて、全国から生徒を募集する国内進学プログラムです。

本プログラムは、近隣では大槌町や住田町などすでに受け入れが始まっています。大槌高校では、県外から入学した生徒が、大槌町の郷土料理「すっぷく」に興味を持ち、冷凍食品として商品開発し、全国販売するような活躍を見せています。

全国から活力ある学生が訪れることで、地域の魅力が再発見され、協力して本市を盛り上げてくれるような生徒が来てくれることを期待して、本市と高田高校での実現可能性について検討しています。

今後は「T×ACTION」などの活動を通じ、高田高校の生徒たちがより積極的に校外へ飛び出し、地域の方々と交流を深めていくことを期待します。例えば「ほんまる茜市」での接客体験や、小学生への学習支援などに参加することで、地域とのつながりを広げてほしいと考えています。こうした経験が、生徒たちにとって自身の将来をじっくり考える大切なきっかけになれば幸いです。

地域包括支援
センター発

介護お茶のみ話

134

「暮らしささえ隊」の
サービス内容を
拡充しました!

どうぞ
ご利用
ください

②見守り、付き添い、話し相手
※①②ともに送迎サービスはありません。買物先や病院、薬局などで待ち合わせ、お会いしたときからサービス利用の開始となります。

買物や薬の受け取りのときに自分一人では負担がかかり、サポートが必要な人はぜひご利用ください。

高齢者実態調査の実施

市地域包括支援センターの役割の一つに「保健師などによる高齢者実態調査」があります。高齢者の健康状態や生活状況を確認し、困っていることや必要としている支援がないかなどを把握するため、訪問活動を行っています。

また、地域の支援が必要と思われる高齢の人などを把握したときは、市地域包括支援センターにご連絡ください。本人との相談や家族などと一緒に繋げたり、必要に応じて定期的な状態確認訪問を行います。

●「はまかだ」が地域にもたらす力

「はまかだ」とは、「はまつてけらりん」(加わり、一緒に参加せんか、お話しをしましよう)の略称です。誰かとちょっとした会話をするだけでも、心が軽くなる瞬間があります。こうしたつながりは、暮らしの安心にもつながる大切な力です。本市では、地域のさまざまな場面で生まれる「はまかだ」を大切にしています。

●1月31日(土)に「はまかだ交流会」を開催します!

「はまかだ」の良さを実際に感じられる場として、本年も「はまかだ交流会」を開催します。スケが低いと言われています。また、地域活動や趣味の集まりに参加する人は、認知症の発症リスクが低いと言われています。会話や交流の機会が多い人は、筋力や意欲の低下などのフレイルことが研究で明らかになっています。会話や交流の機会が多い人は、日々の小さなつながりが、「少し話す」「顔を合わせる」など話すことで、心が軽くなる瞬間があります。このように、地域の小さなつながりが、健

保健だより



527

●つながることは健康づくりにもく体の健康にも良い影響を与えることが研究で明らかになっています。会話や交流の機会が多い人は、筋力や意欲の低下などのフレイルが予防しやすいとされています。また、地域活動や趣味の集まりに参加する人は、認知症の発症リスクが低いと言われています。会話や交流の機会が多い人は、日々の小さなつながりが、「少し話す」「顔を合わせる」など話すことで、心が軽くなる瞬間があります。このように、地域の小さなつながりが、健

●対象者: 次の①または②のいずれかに該当する人
①要支援1、2の認定を受けた人
②要支援相当で、基本チェックリスト(運動、栄養、口腔、生活、閉じこもり、認知症、うつの7つの機能や症状に関する質問票)の結果、対象者と判断された人

●利用料金: 30分100円
●家事支援以外のサービス
①家事支援のほかに、次のサービスを行っています。
②買い物同行、薬の受け取り(買い物への付き添い、品物とつり銭の確保など)

問い合わせ先
センター(内線219)

問い合わせ先
健康推進係(内線236)

●つながることは健康づくりにもく体の健康にも良い影響を与えることが研究で明らかになっています。会話や交流の機会が多い人は、筋力や意欲の低下などのフレイルが予防しやすいとされています。また、地域活動や趣味の集まりに参加する人は、認知症の発症リスクが低いと言われています。会話や交流の機会が多い人は、日々の小さなつながりが、「少し話す」「顔を合わせる」など話すことで、心が軽くなる瞬間があります。このように、地域の小さなつながりが、健



いっぱい
遊んでね

木とのふれあいを通じて健やかな成長を願う 陸前高田の森から生まれた木のおもちゃをプレゼント

市では、市保健福祉総合センターで行われる7ヶ月児健康相談に併せて、本市産のヒノキを使用したおにぎり型のラトルを贈呈する事業を始めました。

本事業は、子どもたちが木とのふれあいを通じて豊かな心や感性を育みながら、森林・林業・自然環境について考える機会を創出するために、誕生日祝い品として本市産木材を活用したおもちゃを贈呈するもの。おもちゃの中には、本市のブランド米「たかたのゆめ」が入っており、振ったときのカラカラする音に子どもたちは興味津々。おもちゃの表面は、丁寧に研磨された滑らかな手触りで、丸みを帯びた仕上がりになっており、子どもたちは振ったり、口にくわえたりしながら遊んでいました。

会場には、おもちゃを制作した矢作町の山木屋の平山直さん、朋花さん夫妻が訪れており、直さんは「子どもが舐めたり、触つたりしても大丈夫なようにやすりや塗料も安全なものを使い、丁寧に作った。今日は、子どもたちが実際に遊んでいるところが見えて良かった。おもちゃを通して、木材の良さを小さなときから感じ取ってもらいたい」と嬉しそうに話していました。



おもちゃに興味津々な子どもたち

SDGs GOAL 3 すべての人に
健康と福祉を
SDGs GOAL 15 陸の豊かさも守ろう

意識新たに 力強い放水と勇壮な行進で新年のスタート 令和8年陸前高田市消防出初式

1月4日(日)、高田町内で消防出初式が行われました。

式典前には、昨年に引き続き一斉放水を実施。団員は声をかけ合いながら消防車両やホースを操作し、見守った消防関係者や地域住民らは迫力ある放水に見入っていました。

続いてアバッセたかた周辺で行われた市内行進には、団員279人、車両36台が参加。一糸乱れぬ威風堂々の行進を披露し、規律意識と士気の高さを示しました。

その後、奇跡の一本松ホールで行われた式典では、大坂司団長が、火災発生に伴う消火活動や津波警戒などにあたった令和7年の消防団活動を振り返りながら、「今後も東日本大震災の教訓を決して風化させることなく、一人一人の安全を確保し、命を最優先に守ることが大切。率先避難の呼びかけや防災啓発活動に引き続き一緒に取り組んでいただきたい」と訓示し、



統率のとれた行進を披露しました

本年4月から導入予定の「機能別消防団員制度」など、新たな取り組みについても紹介しました。また、令和3年1月12日から令和7年6月20日までの3期間で無火災を達成した矢作分団などが無火災表彰を受け、地域の安全を守っていく思いを新たにしていました。



本年もランナーが市内のコースを駆け抜ける奇跡の一本松マラソンが、12月7日(日)に開催され、計4種目に県内外から約1,400人のランナーが参加しました。

楽しく
防災を
学ぶ

見て・触れて・体験して防災意識を育む 消防・防災フェスタ2025

消防・防災フェスタ2025が、11月29日(土)にアバッセたかた周辺で開催され、408人が訪れました。

訪れた子どもたちは、放水や救助、地震などの体験を通して防災について学習。展示ブースでは、災害が発生したときに素早く安全に避難し、避難先で困らないようにするための非常用持出袋を自分なりに作る体験や、アバッセたかたから本丸公園までの避難経路をゲームで学ぶ「ひなんけいろシミュレーション」などの防災意識の向上につながる多くの展示がありました。

地震体験車で震度7の地震を体験した佐々木こころさん（気仙小1年）は「こんなに強い地震は初めてで怖かった。地震が起きたら机の下に隠れます」と振り返っていました。



消防車と記念撮影する子どもたち

SDGs GOAL 4 質の高い教育を
みんなに
SDGs GOAL 11 住み続けられる
まちづくりを

冬の定番

読み聞かせや手遊びなどで楽しみました クリスマスおはなし会

SDGs GOAL 4 質の高い教育を
みんなに
SDGs GOAL 11 住み続けられる
まちづくりを

市立図書館が主催するクリスマスおはなし会が、12月6日(土)にアバッセたかたパブリックスペースで開催され、親子連れなど約50人が訪れました。

当日は、集まったたくさんの子どもたちに、クリスマスをテーマにした絵本やクイズ形式の絵本などを読み聞かせました。読み聞かせには、本年、社会奉仕活動功績で緑綬褒章を受章した子ども読書支援グループ「おはなしペパン」が協力。会場は、子どもたちの元気いっぱいな楽しそうな声で溢れていました。



いろいろな絵本の読み聞かせを楽しみました

おはなし会に訪れた熊谷唯那さん（高田小2年）は「今日は楽しかった。図書館で『おめんですよ』を借りてみたい」と振り返り、弟の優心さん（高田保育所年少）は「クイズをたくさん当てられて楽しかった」と笑顔で話していました。

健脚光る

マラソンを通して復興を感じる 奇跡の一本松マラソン2025

SDGs GOAL 3 すべての人に
健康と福祉を
SDGs GOAL 17 パートナーシップで
目標を達成しよう

本年もランナーが市内のコースを駆け抜ける奇跡の一本松マラソンが、12月7日(日)に開催され、計4種目に県内外から約1,400人のランナーが参加しました。

4種目の中で最も長いコースを走るハーフマラソンでは、メイン会場の夢アリーナを出発したランナーたちが、応援に駆けつけた地域住民の声に背中を押され、ゴールを目指しました。また、本年は昨年から一部のコースが変更。1週目に、奇跡の一本松のそばを通り、防潮堤の上から景色を堪能した選手たちは、2週目では、防潮堤を下り、松林を抜けて海岸沿いのコースを走りました。

ハーフマラソンを完走した高橋永一さん（秋田県）は「本マラソン大会には初めて参加した。海沿いの大会は新鮮で、コースも走りやすかった。ぜひ、また参加したい」と充実した表情を見せっていました。



高田松原の海岸沿いを走るランナーたち

図書館だより

2月のイベント予定

おはなし会

幼児・小学生対象

日時：2月7日(土) 午後2時30分～3時

場所：おはなしの部屋

本の特集展示

1月

一般向け：「私も詠もうかな展」

(市民の皆さんから応募した川柳のほか、俳句・短歌・川柳に関する本を展示します)

児童向け：「冬休みお助け本展」

(冬休みの宿題や自由研究に役立つ本を展示します)

児童向け：「へびからうまへ展」

(昨年の干支「へび」と本年の干支「うま」に関する絵本を展示します)

2月

一般・児童向け：「健康な生活を心がけて」

(生活習慣病やエクササイズ、健康レシピなど、健康に関する本を展示します)

一般向け：「Book with Coffee」

(当館周辺の喫茶店おすすめの本や音楽・映画の展示、コーヒーをテーマにした本などを展示します)

1・2月の移動図書館

※移動図書館は、どの駐車場でもどなたでもご利用できます。ご都合のいい駐車場で借りてください。
※昨年度とコースや巡回場所・巡回日時が変更になっている駐車場所がありますので、ご確認ください。

	巡回日	地区名	時間	駐車場所
Aコース	1月6日(火)	竹駒町仲の沢	10:00～10:30	竹駒小学校
	2月3日(火)	高田町太田	10:45～11:15	市保健福祉総合センター(ふれあい教室)
	2月3日(火)	矢作町神明前	12:55～13:25	矢作小学校
	2月3日(火)	高田町中和野	13:40～14:10	なごみの家
	2月3日(火)	高田町東和野	14:20～14:50	高寿園
Bコース	1月7日(水)	矢作町打越	10:10～10:30	J R陸前矢作駅前
	2月4日(水)	高田町太田	10:45～11:00	夢アリーナたかた
	2月4日(水)	広田町大久保	12:45～13:15	広田小学校
	2月4日(水)	広田町大久保	13:25～13:55	広田保育園
	2月4日(水)	米崎町川向	14:10～14:40	産直はまなす
Cコース	1月8日(木)	小友町宮崎	10:00～10:30	小友小学校
	2月5日(木)	小友町瀬沢	10:40～11:10	矢の浦公民館
	2月5日(木)	気仙町愛宕下	11:30～12:00	今泉地区コミュニティセンター
	2月5日(木)	小友町茂里花	13:50～14:20	森崎町内会館
	2月5日(木)	米崎町和野	14:30～15:00	岩手高齢協すずらん
Dコース	1月9日(金)	気仙町上長部	9:20～9:50	上長部公民館前
	2月6日(金)	気仙町愛宕下	10:00～10:30	気仙小学校
	2月6日(金)	気仙町月山	10:40～11:10	湊公民館
	2月6日(金)	竹駒町館	13:10～13:40	竹駒保育園
	2月6日(金)	竹駒町上壺	13:50～14:20	壺の沢公民館

※悪天候や災害等により、巡回の中止または時間に遅れる場合がございますのでご了承ください。

※小学校への巡回は、学校行事や長期休みにより、巡回を休止または巡回日を変更する場合があります。利用は児童のみです。

SDGs GOAL 4 質の高い教育をみんなに

今月のイチオシ！

大人も楽しむおはなし会

大人になると、絵本を読んでもらったり、おはなしを聞かせてもらったりする機会はありませんよ。おはなしの世界は、子どもだけでなく、大人にとっても楽しいものです。日々の忙しさを忘れ、1時間だけ、ゆっくりおはなしに耳を傾けてみませんか？

日 時：2月14日(土) 午後2時～3時

場 所：アバッセたかた パブリックスペース

定 員：先着30名(無料)

申込み：不要

協 力：ささ舟



流れの紙芝居や落とし絵、高田の昔話などを趣向を凝らした読み聞かせをします



市立図書館では、8年度に移動図書館車が巡回する場所を募集します。希望するグループ・団体はお問い合わせください。本年度、移動図書館の巡回ステーションとなっているグループ・団体の代表者には、市立図書館から直接連絡します。なお、コースの設定上、ご希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。

申込期限

2月15日(日)

立図書館

0192(54)3227

問い合わせ先

市立図書館

0192(54)3227

2月 くらしの情報

休日当番医・歯科医

日付	当番医		当番歯科医			
1日(日)	滝田医院	末崎町	0192(29)3108	ちば歯科医院	猪川町	0192(27)8727
8日(日)	えんどう消化器科内科クリニック	猪川町	0192(21)1555	平成歯科医院	高田町	0192(55)2800
11日(水)	ちば内科診療所	猪川町	0192(22)8990	峰岸歯科医院	大船渡町	0192(27)5535
15日(日)	いとう耳鼻咽喉科クリニック	猪川町	0192(21)1333	いわぶち歯科	大船渡町	0192(21)3377
22日(日)	二又診療所	矢作町	0192(58)2220	菅野歯科医院	住田町	0192(46)2345
23日(月)	松原クリニック	高田町	0192(53)1721	及川歯科医院	盛町	0192(27)5582

ごみ収集日

燃えるごみの収集日 ※祝日の場合、収集はありません。

高田町(1～4区)・小友町・広田町	(月)・(木)
高田町(5～19区) 米崎町・竹駒町・横田町	(火)・(金)
気仙町・矢作町	(水)・(土)

燃えないごみなどの収集日

収集行政区	燃えないごみ	空きびん	紙類
矢作町2～7区	25日	18日	14日
矢作町8～14区	26日	19日	12日
矢作町1・15・16区	27日	20日	13日
横田町	19日	12日	5日
竹駒町	18日	14日	4日
気仙町1～3・5区	20日	13日	6日
気仙町6～9区	28日	16日	9日
気仙町10～14区	24日	17日	10日
高田町1・3～5区	2日	28日	16日
高田町2・16区	3日	24日	17日
高田町7・10・17区	4日	25日	18日
高田町6・8・9・11・18・19区	5日	26日	19日
高田町12～15区	6日	27日	20日
米崎町1～7区	9日	2日	28日
米崎町8～17区	10日	3日	24日
小友町1～7区	14日	4日	25日
小友町8～10区	12日	5日	26日
広田町12・13区	12日	5日	26日
広田町1～3・11・14・15区	13日	6日	27日
広田町4～7区	16日	9日	2日
広田町8～10区	17日	10日	3日

問い合わせ先 市役所まちづくり推進課
生活環境係(内線123)

SDGs 3 すべての人に
健康と福祉を
SDGs 12 つくる責任
つかう責任

各施設電話番号

(市)=陸前高田市役所 ☎ 0192(54)2111
(市)=陸前高田市コミュニティホール ☎ 0192(54)5520
(市)=保健福祉総合センター ☎ 0192(22)8671
(市)=大船渡地区合同庁舎 ☎ 0192(27)9922

慶弔

(令和7年11月16日～12月15日届け出分)

※届け出人が希望した人のみ掲載
※氏名は通常字体で掲載

おめでた。()は保護者・字名

男の子

横田 泉 田 紫 薫 (春・堂の沢)

女の子

高田 小 山 彩 季 (貴史・中和野)

お幸せに。()は字名

気仙 大 榻 良 崇・小 林 真 子 (町裏)

お悔やみ。()は年齢・字名

矢作 佐藤 タケシ (97歳・清水川)

佐々木トヨエ (106歳・坂下)

阿部 繁子 (92歳・上小黒山)

横田 菅野 泰子 (70歳・狩集)

竹駒 大 脇 和子 (65歳・下壺)

気仙 小 松 秀 (29歳・愛宕下)

高田 菅野 直人 (91歳・柄ヶ沢)

幕 内 トク (93歳・荒町)

村 上 武 (92歳・洞の沢)

荒木 忠子 (92歳・中和野)

米崎 村 上 勝治 (84歳・和方)

小友 遠藤 恵美子 (90歳・猪森)

藤 原 征男 (80歳・沢辺)

広田 村 上 ヨシ子 (85歳・平畠)

佐々木ウエミ (97歳・中沢)

熊谷 フク子 (92歳・後花貝)

村 上 ちね子 (85歳・袖野)



数字で見る陸前高田市

(令和7年11月30日現在)

市内の火災救急活動

11月
()は1月からの累計

- 建物 2件 (4件)
- 林野・その他 0件 (7件)
- 出動件数 83件 (904件)
- 搬送人員 79人 (868人)

市の人口(住民登録人口)

()は前月比 出生・死亡数は11月分

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ▪ 男性 | 8,094人 (-21人) |
| ▪ 女性 | 8,728人 (-14人) |
| 計 | 16,822人 (-35人) |
| (出生1人 死亡35人) | |
| 世帯数7,539 世帯(-6世帯) | |

市の交通事故

11月
()は1月からの累計

- | | |
|--------|-------------|
| ▪ 人身事故 | 2件 (19件) |
| ▪ 物損事故 | 18件 (219件) |
| ▪ 負傷者 | 2人 (30人) |
| ▪ 死亡者 | 0人 (1人) |
| ▪ 飲酒運転 | 0件 (5件) |

